

令和5年10月18日

千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月間の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。また、予報の根拠の(+)は多発要因、(-)は少発要因であることを示す。並〔発生なし〕は平年並で、今年発生がないことを示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
夏 秋 ト マ ト	灰色かび病	並	9月下旬発生量 : 並〔発生なし〕 気象予報: 降水量少(-) 日照時間多(-)	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の換気を良くし、湿度をできるだけ下げる。 発病果、発病葉は早めに摘除し、施設外に持ち出し適切に処分する。
	すすかび病	やや少	9月下旬発生量: やや少(-) 気象予報: 降水量少(-) 日照時間多(-)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の換気を十分に行う。 発生初期から薬剤防除する。
	黄化葉巻病	やや多	9月下旬発生量 黄化葉巻病: やや多(+) タバココナジラミ : やや多(+)	<ul style="list-style-type: none"> 黄色粘着トラップの設置等でコナジラミ類の発生を的確に把握し、発生初期から薬剤防除する。 施設内外の除草等で耕種的防除に努める。
	タバココナジラミ	やや多	9月下旬発生量 タバココナジラミ : やや多(+) オンシツコナジラミ : やや多(+) 黄色粘着トラップ誘殺数 コナジラミ類: 多(+) 気象予報: 気温高(+) 降水量少(+)	<ul style="list-style-type: none"> タバココナジラミは黄化葉巻病を、また両種は黄化病を媒介するので、これらの発病にも注意し、発病株は抜き取ってハウス外に持ち出し、適切に処分する。 栽培終了時にはハウス内を除草、トマトを抜根した状態でハウスを密閉し、完全に枯死させて本虫を死滅させる。 黄化葉巻病は、<u>令和4年度病害虫発生予報第8号P4「これから注意を要する病害虫」</u>も参照する。
	オンシツコナジラミ	やや多		
	アザミウマ類	少	9月下旬発生量: 少(-) 黄色粘着トラップ誘殺数 : やや少(-) 気象予報: 気温高(+)	<ul style="list-style-type: none"> 発生初期から薬剤防除する。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬 キ ヤ ベ ツ	黒腐病	並	今春発生量：並 [発生なし] 10月上旬発生量 ：並 [発生なし] 気象予報：気温高 (+) 降水量少 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 結球始めころから薬剤防除する。 風雨で傷を受けないよう管理に注意し、風雨後は速やかに薬剤防除する。
	黒斑病	少	10月上旬発生量：少 (-) 気象予報：降水量少 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 肥料切れしないようにする。 発生初期から薬剤防除する。
秋 冬 ネ ギ	さび病	やや少	10月上旬発生量： 並 [発生なし] 気象予報：降水量少 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 発生初期から薬剤防除する。
	べと病	やや少	10月上旬発生量： 並 [発生なし] 気象予報：気温高 (-) 降水量少 (-) 日照時間多 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 気温が15℃前後の多湿条件で発生しやすい。発病してからの薬剤散布では効果が劣るので、降雨や霧の発生が予想される時などには、予防散布を行う。 「ねぎべと病なび」も参考に予防散布を行う。なお、「ねぎべと病なび」の使用にあたっては担い手支援課への申請が必要である。
	ネギアザミウマ	やや少	10月上旬発生量 被害度：少 (-) 寄生株率：やや少 (-) 気象予報：気温高 (+) 降水量少 (+)	<ul style="list-style-type: none"> 発生初期から薬剤防除する。
イ チ ゴ	うどんこ病	やや少	10月上旬発生量 ：やや少 (-) 気象予報：日照時間多 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 発生初期から薬剤防除する。
	ハダニ類	並	10月上旬発生量：やや少 (-) 気象予報：気温高 (+) 降水量少 (+)	<ul style="list-style-type: none"> 発生初期から薬剤防除する。 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
温 州 ミ カ ン	ミカンハダニ	やや多	9月下旬発生量：やや多 (+) 気象予報：気温高 (+) 降水量少 (+)	<ul style="list-style-type: none"> 寄生葉率が20%以上の場合に薬剤防除する。
	カメムシ類	多	9月下旬叩き落とし虫数 ：やや多 (+) 9月果樹予察灯誘殺数 ：やや多 (+) 9月フェロモントラップ誘殺数 ：やや多 (+) 気象予報：気温高 (+) 降水量少 (+)	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤防除する場合は、収穫前使用日数に注意する。
ビ ワ	灰斑病	やや多	9月下旬発生量：多 (+) 気象予報：気温高 (+) 降水量少 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 伝染源は旧葉の病斑であるから、落葉は集めて園外で処分する。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
カーネーション	アザミウマ類	やや多	9月下旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温高（+） 降水量少（+）	・ 施設内外の雑草や花がらは適切に処分し、ほ場周辺に放置しない。
	ハダニ類	並	9月下旬発生量：やや少（-） 気象予報：気温高（+） 降水量少（+）	・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。
野菜・花き共通	コナガ	並	10月上旬発生量 冬キャベツ：並 [発生なし] 9月フェロモントラップ誘殺数：並 気象予報：気温高（+） 降水量少（+）	・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
	ハスモンヨトウ	並	9月下旬発生量 夏秋トマト：並 [発生なし] カーネーション：並 [発生なし] 10月上旬発生量 イチゴ：並 秋冬ネギ：並 [発生なし] 9月フェロモントラップ誘殺数：並 気象予報：気温高（+） 降水量少（+）	・ 中齢期以降の幼虫は薬剤の防除効果が著しく低下するため、早期発見、早期防除に努める。
	シロイチモジヨトウ	多	10月上旬発生量 秋冬ネギ：多（+） カーネーション：並 [発生なし] 9月フェロモントラップ誘殺数：多（+） 気象予報：気温高（+） 降水量少（+）	
	オオタバコガ	多	9月下旬発生量 カーネーション：やや多（+） 9月フェロモントラップ誘殺数：多（+） 気象予報：気温高（+） 降水量少（+）	

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（イネ：8月中下旬、果樹・花き：9月下旬、サツマイモ・野菜：9月下旬～10月上旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
イネ (千葉、東葛飾、印旛、香取、海匝、山武、長生、夷隅)	斑点米	発生粒率 (%)	0.23	0.27	0.27	1.7mmで篩掛 けた玄米 5000粒で調査
	黒点米(黒点症状米を含む)	発生粒率 (%)	0.08	0.03	0.04	
	その他着色粒	発生粒率 (%)	0.08	0.21	0.09	
サツマイモ (印旛、香取)	ハスモンヨトウ	100葉あたり寄生幼虫数	1.75	0.70	1.60	
	ナカジロシタバ	100葉あたり寄生幼虫数	0.00	0.48	0.80	
	イモキバガ	被害葉率 (%)	5.25	1.28	1.60	
夏秋トマト (山武、印旛)	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	2.33	8.89	
		発病果率 (%)	0.00	0.03	0.00	
		果実発病度	0.00	0.40	0.00	
	すすかび病	発病株率 (%)	15.11	39.50	23.56	
	黄化葉巻病	発病株率 (%)	6.11	2.71	6.33	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率 (%)	28.44	16.03	43.11	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率 (%)	15.11	7.68	32.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.04	0.00	
	ハモグリバエ類	幼虫寄生株率 (%)	0.00	2.64	8.00	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	8.68	0.89	
	コナジラミ類	黄色粘着トラップ誘殺数	1609.13	263.45	1171.19	
アザミウマ類	黄色粘着トラップ誘殺数	2.54	34.09	2.66		
冬キャベツ (海匝)	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	黒腐病	発病度	0.00	0.25	0.00	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.00	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.10	0.00	
秋冬ネギ (山武、長生)	黒斑病	発病度	0.00	5.31	1.30	
	さび病	発病度	0.00	0.03	0.00	
	べと病	発病株率 (%)	0.00	0.40	0.00	
	ネギアザミウマ	被害度	9.10	23.28	29.40	
		成幼虫寄生株率 (%)	12.80	32.55	11.60	
	ハスモンヨトウ	被害株率 (%)	0.00	0.32	0.00	
	シロイチモジヨトウ	被害株率 (%)	16.40	0.73	1.20	
	ネギコガ	被害株率 (%)	0.80	0.30	0.00	
	ネギハモグリバエ	被害度	3.50	11.70	15.00	
イチゴ (山武、海匝、安房)	うどんこ病	発病株率 (%)	0.00	1.70	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.25	2.32	0.71	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	1.25	1.60	2.59	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	2.00	6.94	0.94	
ナシ (県内全域)	黒星病	発病葉率 (%)	0.21	0.47	0.12	
	炭疽病	発病新梢率 (%)	0.06	0.13	0.00	
	ハマキムシ類	被害葉率 (%)	0.00	0.03	0.00	
	ハダニ類	雌成虫寄生葉率 (%)	0.09	0.96	0.47	
	アブラムシ類	成幼虫寄生新梢率 (%)	0.21	0.19	0.03	
温州ミカン (安房)	そうか病	果実発病度	0.08	0.15	0.04	
	かいよう病	果実発病度	0.00	0.00	0.00	
	黒点病	果実発病度	0.00	0.93	0.08	
	ヤノネカイガラムシ	成幼虫寄生果率 (%)	0.00	0.02	0.00	
	ミカンハダニ	雌成虫寄生葉率 (%)	4.80	2.42	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生新梢率 (%)	0.20	1.66	0.20	
	ミカンハモグリガ	幼虫寄生葉率 (%)	0.00	1.14	0.40	
	カメムシ類	被害果率 (%)	0.00	0.04	0.00	
	叩き落とし虫数	2.00	0.80	0.00		
ビワ (安房)	灰斑病	発病葉率 (%)	5.25	1.18	1.75	
	アブラムシ類	成幼虫寄生葉率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	カミキリムシ類	被害穴数	0.00	0.63	0.25	
カーネーション (安房)	萎凋病	発病株率 (%)	0.00	0.72	0.00	
	立枯病	発病株率 (%)	0.00	0.40	0.00	
	アザミウマ類	被害株率 (%)	0.60	17.73	0.00	
	シロイチモジヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.48	0.00	
	ヨトウムシ類	被害株率 (%)	0.00	4.29	5.60	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	0.00	6.43	0.00	
	オオタバコガ	幼虫寄生株率 (%)	0.20	0.32	0.00	

トラップ月間誘殺数（9月）

区分	調査害虫名	トラップ設置場所	誘殺数			備考
			本年値	平年値	前年値	
水稲予察灯	イネミズゾウムシ	千葉、香取、安房	0.0	0.4	0.7	頭/月
	セジロウンカ	〃	0.0	2.5	0.7	
	トビイロウンカ	〃	0.0	0.5	0.0	
	ヒメトビウンカ	〃	1.1	1.8	1.0	
	ツマグロヨコバイ	〃	197.8	407.9	643.7	
	フタオビコヤガ	〃	1.0	1.2	0.3	
	ニカメイガ	〃	13.3	0.8	3.7	
	コブノメイガ	〃	0.0	0.0	0.0	
	イネクロカメムシ	〃	28.9	34.3	15.0	
	クモヘリカメムシ	〃	11.7	1.6	1.0	
	ホソハリカメムシ	〃	0.4	0.3	0.3	
	シラホシカメムシ類	〃	0.0	-	-	
	イネカメムシ	〃	4.3	5.5	12.7	
	アカヒゲホソミドリカスミカメ	〃	4.3	2.5	0.7	
	アカスジカスミカメ	〃	57.5	27.6	10.7	
ミナミアオカメムシ	〃	4.3	12.3	3.0		
果樹予察灯	チャバネアオカメムシ	〃	22.0	13.1	3.0	頭/月
	クサギカメムシ	〃	7.0	7.1	3.0	
	ツヤアオカメムシ	〃	6.0	14.7	0.0	
性フェロモン	ドウガネブイブイ	印旛、香取	1.0	3.4	3.4	頭/日
	ヒメコガネ	印旛、香取	0.0	1.0	0.6	
	コナガ	海匠、安房	0.5	0.5	0.6	
	ハスモンヨトウ	県内全域	26.6	27.1	14.7	
	シロイチモジヨトウ	県内全域	6.3	2.0	2.9	
	オオタバコガ	県内全域	6.3	3.4	6.0	
	タバコガ	県内全域	1.9	1.1	1.5	
	ナシヒメシンクイ	東葛飾、印旛	3.9	1.5	1.7	
	モモシンクイガ	東葛飾、印旛	0.0	0.0	0.0	
	シンクイムシ類	東葛飾、印旛	3.9	1.5	1.7	
	チャハマキ	東葛飾、印旛	0.2	0.4	0.5	
	チャノコカクモンハマキ	東葛飾、印旛	0.8	1.5	0.4	
ハマキムシ類	東葛飾、印旛	0.9	1.9	0.9		
チャバネアオカメムシ 集合フェロモン	チャバネアオカメムシ	県内全域	4.7	5.3	4.7	頭/日
	ツヤアオカメムシ	〃	2.8	0.7	0.3	
	クサギカメムシ	〃	0.5	0.4	0.7	
	カメムシ類	〃	8.0	6.4	5.8	
	マルボシヒラタヤドリバエ (天敵)	〃	0.3	0.4	0.7	

注) 種類別の単位の違いに注意

○気象予報

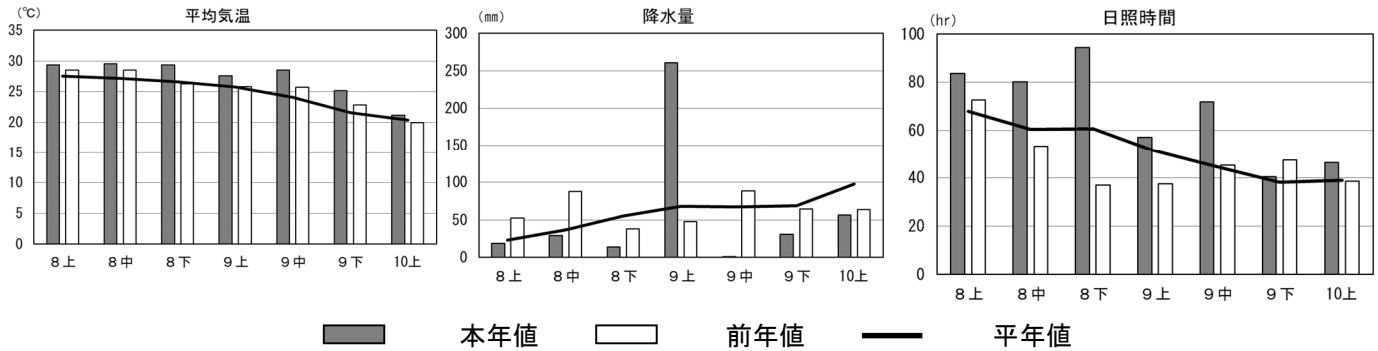
10月12日気象庁発表
 関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	20	30	50
降水量	50	30	20
日照時間	20	30	50

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月間の各気象要素の平年値
 (10月14日～11月13日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(℃)	16.4	17.2	16.5
降水量(mm)	148.7	197.5	198.5
日照時間(hr)	142.7	144.1	146.8



過去2か月の気象概況(アメダス千葉、銚子地方気象台提供)

農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を使用したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・ 次回の発行予定は11月15日です。なお、注意報等の臨時情報は逐次発行されます。
- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。
<https://pesticide.maff.go.jp/>



問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp